

科目名	コミュニケーション論 (Communication Studies)			科目コード	131
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	1 年次後期	関連DP	看①③、臨①③
担当教員	仲渡 江美				
授業概要	人間関係の一般的なあり方や、医療場面での専門的な援助関係の基礎について、グループワークを交えて講義を進めていく。それにより、医療現場や日常の人間関係における言語的・非言語的コミュニケーションの役割について、理解を深める学びにつなげていく。またディベートを実践し、議論を行う上で必要となる能力を向上させていく。				
授業目標	人間関係の基礎となる言語的・非言語的コミュニケーションの特徴や医療コミュニケーションの基礎知識について学ぶ。また、さまざまな手段・方法を用いて他者とのコミュニケーションを体験的に学習する。自己主張と他者理解を深め、効果的なコミュニケーションについての理解を深める。				

授業計画

回	項目	内容
1	コミュニケーションとは	言語的・非言語的コミュニケーション
2	コミュニケーションと人間関係 (1)	顔からのコミュニケーション
3	コミュニケーションと人間関係 (2)	表情からのコミュニケーション
4	コミュニケーションと人間関係 (3)	感情、気持ちマップ、パーソナルスペース
5	コミュニケーションと人間関係 (4)	男女間のコミュニケーションのギャップ
6	コミュニケーションと人間関係 (5)	価値観のワーク
7	コミュニケーションと人間関係 (6)	ジョハリの窓による自己理解 (自己開示、自己呈示)
8	コミュニケーション・スキルの発展 (1)	ディベートについて (1)
9	コミュニケーション・スキルの発展 (2)	ディベートについて (2)
10	コミュニケーション・スキルの発展 (3)	ディベート実践 (1)
11	コミュニケーション・スキルの発展 (4)	ディベート実践 (2)
12	コミュニケーション・スキルの向上 (1)	医療コミュニケーションとは
13	コミュニケーション・スキルの向上 (2)	医療コミュニケーションの基本的なスキル：傾聴と共感
14	コミュニケーション・スキルの向上 (3)	アサーションの理論と技法
15	職場のコミュニケーション	メンタルヘルス、アンガーマネジメント
成績評価方法	毎授業のワークシート・リアクションペーパー (60%)、ディベート (20%)、期末レポート (20%)。授業計画を含め、詳細は授業第1回目に説明する。	
教科書	テキストは使用せず、必要に応じて資料を配付する。	
参考図書等	適宜紹介する。	
授業時間外の学習について	ディベートの際には、予習として、立論や主張・反論に関する根拠となる情報収集を行う (2時間)。	
関連科目	受講する上で必要となる基礎科目：130 心理学	
備考		